



◇ミニバスケットボール春季大会で、女子チームが優勝、男子チームが優勝に値する結果を出す等、頑張りましたので「2」。※男子は登録チーム数の関係で優勝とはなりません、試合結果は全勝でした。

◇2年生が学校探検で、1年生をととても上手に案内し、上級生らしい頑張りを見せたので「1」。

今回は、2+1+1で、合計「4」。これを前回の「7」と合わせて、「11」になりました。早くも2桁に突入です。

この後も、子どもたちの頑張りど活躍が楽しみです。

◇5月3日（憲法記念日で学校が休みの日）、5年生の山内風くん、野中康弘くん、西本琉生くん、3年生の田本絢叶くんが、運動場周辺にたくさんのゴミが落ちていたのを見つけて、袋一杯拾ってくれました。誰に言われるでもなくゴミを拾った気持ちと行動が素晴らしいので「1」。

主な行事予定

<5月>

5月6日（木）まで個人面談

※面談日程等の詳細は各学級からお知らせ済みです。

10日（月）：全校朝会
委員会活動

※PTA運営委員会

11日（火）：4～6年内科検診

13日（木）：1～3年内科検診
ともだち集会

14日（金）：スマイル班開き

17日（月）：お話ポック読み聞かせ
代表委員会

18日（火）：4～6年体力テスト

20日（木）：スマイル班清掃

21日（金）：2年野菜植え
5年田植え

24日（月）：クラブ活動

27日（木）：全国学力学習状況調査6年
長崎県学力調査5年
5年プール清掃

28日（金）：6年プール清掃

<6月>

1日（金）：1年芋植え

2日（水）～4日（金）：修学旅行

11日（金）：歯と口の健康集会

14日（月）：プール開き集会

30日（水）：授業参観（道徳）
学級懇談会

26日（土）～7月2日（金）

盈科っ子の心を育てる教育週間

※週間中の取組の詳細は、あらためてお知らせします。

※上記の内容は、あくまで現時点での予定であり、変更になる場合があります。

個人面談、連休中の見守りありがとうございました！

4月末から本日まで行いました、個人面談では、ご多用な中、ご出席をいただき、ありがとうございました。

面談でお話いただいた内容等については、今後の指導等に生かしていきます。

また、連休中の生活についても、事件や事故等についての情報は入っておらず、安全に過ごせたようです。

保護者の皆様、本当に、ありがとうございました。

1年生に寄贈いただきました！

壱岐市防犯協会連合会、壱岐地区交通安全協会、壱岐警察署様より、「こどもたちのあんぜんマニュアル」をいただきました。

早速1年生に渡しています。

保護者の皆様も一緒にご覧になられて、ぜひ、お子様に、大事なポイントを話して聞かせて下さい。



人を喜ばせる人になる

盈科小学校学校便りNo.3

令和3年5月6日
文責 校長 中上一義

すごいぞ、すごいぞ、1年生！

今年度がスタートしたのがついこの前のような気がしますが、早いもので、もう4月が終わりました。本校の子どもたちは、この1か月、昨年度とは違う顔ぶれや雰囲気の中で過ごしたのですが、その中で最も大きな環境の変化を味わったのが1年生の子どもたちです。

この期間、1年生の子どもたちは、よく頑張って、いろいろなことができるようになってきています。例えば……。



※話の聞き方、発表の仕方、学習の約束を身に付けてきています。



※苦手なメニューがあっても頑張って食べようとしています。



※集団行動、短い時間できちんと並べるようになっていきました。

子どもたちは、気持ちをうまく言葉で表すことができないものですが、それぞれに、大丈夫かな？できるかな？これでいいのかな？と思ったことも、多々あったと思います。そういえば、勉強の仕方、給食、友達とのちょっとした行き違い等で、気持ちがくじけそうになったり、泣きそうになったりした子どももいました。何人かの保護者の皆様から、「さすがに疲れたみたいで、いつもより早く寝ていました」という声も聞きました。

けれども、1年生の子どもたちは、それらを自分なりに乗り越えて、少しずつ、できるものを増やしてきているのです。

本校では、このような「自分なりに何とかして乗り越えていく」という考え方や生き方を、子どもたちに、何としても身に付けさせたいと考えています。

考えてみれば、生きていく上で、様々な壁や困難に直面することは避けられないものです。すべてが楽しく面白いことばかりではありません。

そのような時に、「だめだ、無理だ、できない」と嘆き、誰かが助けてくれることを待つだけでは乗り越えることはできません。逆に、そのような考え方しかできないことで、乗り越えられるかもしれない可能性を、自ら閉ざしてしまっているとも言えるのです。

だからこそ、1年生が、この1か月を乗り越えてきたという事実が嬉しいのです。もちろん、これは他の学年の子どもたちにも言えることであり、さらには、1年生と同じように、大きな変化に直面した、4月に転入してきた子どもたちにも言えることです。

みんな、この1か月、いろいろなことを乗り越えてきたのです。何より乗り越えたから今があるのです。

私たちは、これからも、子どもたちに「自分なりに何とかして乗り越えていく」という考え方や生き方が身に付くように、子どもたちを励まし、指導していきます。

保護者の皆様、ご家庭でも、ぜひ同じように、子どもたちの背中を押して下さい。よろしくお祈りします。

22日(木) 避難訓練 「命を守るトライアングル」の1つめを学びました!

今年度最初の避難訓練を行いました。今回想定した災害は「火災」です。新しい学年になって初めての訓練でしたが、子どもたちは概ね上手に避難することができました。

この訓練の最後には、子どもたちに「命を守るトライアングル」の話を伝えています。「命を守るトライアングル」の1つ目は「情報」です。災害に対する情報を正しくつかむこと、そのためにも、先生たちがいつも言っている「話をしっかり聞くこと」が大切なことを伝えました。トライアングルの残り2つは何か?この後、訓練の度に1つずつ伝えていきますが、それが何か?親子で予想してみることもお勧めします。



23日(金) 1・2年生の生活科の学習 学校探検、学校にはいろいろな教室があることを学びました!



1年生が、生活科の学習で、「学校を知る」ことを目的として、学校探検を行いました。

案内役は1つ先輩の2年生です。1年生は頼もしい案内役である2年生のリードで、校内のあちこちを見て回り、チェックポイントとなる場所では、スタンプを押してもらいながら学習することができました。

挨拶の仕方や部屋への入り方等を教える2年生の姿も堂に入ったものでした。その姿に、2年生の成長も感じました。

終わって数日後、担任の先生から、2年生の子どもたちが、「1年生のことを考えて頑張りました。1年生も喜んでくれたと思う。ヨロコビメーターにカウントできるかなあ?」と尋ねたことを聞きました。私の答えは即答で「OK!」でした。

2年生の子どもたちの、そのような気持ちや頑張りが嬉しいです。

24日(土) 壺岐友杯 ジュニア野球大会 勝利は目前、この経験を次に生かそう!

本校のジュニア野球クラブの子どもたちは、あと一步のところまで勝利を逃した先日の大会に続いて、この日も頑張りました。

先制し、そのままリードを保って迎えた最終回、惜しくも、あと一步のところまで逆転を許してしまいましたが、今回も大熱戦でした。

どんな強いチームであっても、強くなるまでの道のりで、必ず痛い負けやなかなか勝てない時期を経験しているものです。

強いチームになる条件は、チーム全体が、そして、選手一人一人が、「負けや失敗をどう生かすか」ということを深く考えることができることだと思います。勝利の栄冠はもう目前にあります。次の試合も楽しみです。



25日(日) ミニバスケットボール春季大会 IKI GOLDEN OWLS 男女ともに頑張りました!

この日、大谷体育館で、ミニバスケットボールの春季大会が行われました。大会では、男子チーム、女子チームともに、素晴らしい試合を繰り広げました。



結果は、女子チームは優勝、男子チームは登録チームの関係で「優勝」という二文字は得られませんでした。圧倒的な強さを見せました。

チーム数が少なくなれば切磋琢磨する相手も少なくなります。それは残念ではありますが、そのような中でも練習等を頑張って続けていることが強さにつながっていることは間違いありません。そして、それが今後、さらには中学校等にもつながっていくのだと思います。

次の大会も楽しみです。

30日(金) 1、2年生 交通安全教室 道路の歩き方、横断歩道の渡り方等を中心に学習しました!

先週、3～6年生の子どもたちが交通安全教室で交通安全について学習したことを紹介しましたが、この日は、1、2年生が、学習しました。

今回も、交通安全指導員さんにご来校いただき、実際に歩道を歩いたり、横断歩道を横断したりしながら、安全な道路の歩き方、横断歩道の利用の仕方について学習しました。

前号でも書きましたが、このような基本的な約束を日頃から守れるかどうか、交通事故から子どもを守ることに繋がります。学校でも引き続き、日常的に注意喚起を行う指導や言葉かけを続けていきます。なお、もしも、地域で危ない場面を見かけられたら、「後で」「学校から注意してもらおう」ではなく、とにかく、その場で注意をお願いします。その場だからこそ効果があるものです。



引き続き、新型コロナウイルス感染症への対策を!

全国的な感染者数の増加が非常に気になるところです。学校でも、学校の感染予防体制の再確認をするとともに、今、私たちにできることである、マスクの着用、手指消毒、感染リスクのあるような場や行動を避ける等、基本的な感染予防策を徹底・継続して行いながら、子どもたちの学びを保障することに、全力で取り組んでいきます。

4月30日付の文書でもお知らせしましたが、保護者の皆様には、引き続き、以下のことについて、ご家庭で取組をお願いします。

感染予防のための合言葉 「3つの『ない』で、コロナに負けない」

- ① (不要不急の用件で) 感染のリスクが高いようなところには行かない (多くの人が集まる場所や密閉された場所、島外への移動等)
- ② 感染のリスクが高くなるような行動をしない (人との距離、飲食等)
- ③ 基本的なことを忘れない (マスク着用、手指消毒、密を避ける等)